

光産業技術マンスリーセミナー

光協会では、光産業・技術の普及事業の一環としてマンスリーセミナーを毎月第3火曜日(原則)に開催しております。このセミナーは、光産業技術に関連する幅広い専門家を講師に迎えて、内外のトピックスや最新の情報をわかりやすく解説していただくものです。

501 回	2/18 (火)	光海底ケーブルシステム技術の進展	早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 情報通信学科 教授 森田 逸郎 氏
<p>(概要) 継続的に増加する通信トラフィックを収容し、高信頼で経済的な通信サービスを提供し続けるためには、それを支える光伝送システムの大容量化が不可欠となる。特に日本のような島国では、光海底ケーブルシステムはグローバル通信を支える基幹インフラであり、現在ではグローバル通信の約99%が光海底ケーブルシステムにより運ばれている。本セミナーでは、20年で1000倍程度のペースで大容量化が進められてきた光海底ケーブルシステムについて、その概要と共に、このような急速な大容量化を実現した技術を紹介する。また、最近の光海底ケーブルシステムへの導入が進む空間多重技術を中心に今後の展望を述べる。</p>			<p>受講申込</p> 
502 回	3/11 (火)	ワイドギャップ半導体光集積プラットフォーム 開発と光コンピューティング応用	大阪大学 大学院工学研究科 電気電子情報通信工学専攻 量子情報エレクトロニクスコース エレクトロニクスデバイス講座 量子フォトニクス領域 教授 片山 竜二 氏
<p>(概要) 近年本研究グループでは、人体照射可能な殺菌消毒用光源としての応用を目指し、ワイドギャップ窒化物半導体薄膜の結晶方位反転技術を用いて形成した230 nm帯遠紫外第二高調波発生デバイスを開発した。これは光導波路型の波長変換デバイスであり、同種構造からなるスクイーズド光源と位相変調器、方向性結合器を集積することで、量子コンピュータやAIアクセラレータをはじめとする光コンピューティングのプラットフォームとなりうる。本講演では、これら波長変換デバイスの動作原理、作製プロセスと光学特性評価に関して解説するとともに、光コンピューティング応用の進捗と今後の展開について紹介する。</p>			<p>受講申込</p> 
503 回	4/15 (火)	持続的農畜水産業のための 分光・画像センシング技術	京都大学 農学研究科 教授 近藤 直 氏
<p>(概要) 農業、畜産業、水産業は食料生産において最も重要な産業であるが、数多くの環境負荷を引き起こす原因ともなっており、その持続的生産が危ぶまれている。特に、農畜水産業が関わっている地球温暖化をはじめとする環境問題、食品ロス、タンパク質の高効率生産を追求したための動物犠牲等の問題を早急に解決することが喫緊の課題である。本講演では、食料-環境-動物福祉問題を解決することを目的とし、近年開発されたX線から赤外線までの光センシング技術について具体的な事例を挙げて議論する。</p>			<p>受講申込</p> 

光産業技術マンスリーセミナー 参加要領

参加料：銀行振込でお支払い下さい。(消費税込み)
 光協会賛助会員：1,500円
 一般：3,000円
 大学・公的機関：無料(学生・院生含む)

会場：オンライン開催
 定員：90名(定員になり次第締め切らせていただきます。)
 時間：15:30~17:30

お申込み：各回次毎の二次元バーコードからお申し込みください。詳細は下記HPをご参照ください。

マンスリーセミナーHP <https://www.oitda.or.jp/seminar/monthly/>

事務局：マンスリーセミナー担当 武富・瀬戸山 Email: mly@oitda.or.jp TEL: 03-5225-6431

